



普通高等教育“十一五”国家级规划教材  
新世纪高等学校日语专业本科生系列教材

总主编 谭晶华

# 日语写作教程

| 凌蓉 [日] 山岸爱美 编著

 上海外语教育出版社  
外教社 SHANGHAI FOREIGN LANGUAGE EDUCATION PRESS  
[www.sflep.com](http://www.sflep.com)



普通高等教育“十一五”国家级规划教材  
新世纪高等学校日语专业本科生系列教材

总主编 谭晶华

# 日语写作教程

| 凌蓉 [日] 山岸爱美 编著

## 图书在版编目(CIP)数据

日语写作教程 / 凌蓉, (日) 山岸爱美编著. - 上海: 上海外语教育出版社, 2018  
新世纪高等学校日语专业本科生系列教材

ISBN 978-7-5446-5091-5

I. ①日… II. ①凌…②山… III. ①日语—写作—高等学校—教材 IV. ①H365

中国版本图书馆CIP数据核字(2017)第313368号

**出版发行: 上海外语教育出版社**

(上海外国语大学内) 邮编: 200083

**电 话:** 021-65425300 (总机)

**电子邮箱:** bookinfo@sflep.com.cn

**网 址:** <http://www.sflep.com>

**责任编辑: 曹 艺**

---

**印 刷:** 上海华教印务有限公司

**开 本:** 787×1092 1/16 印张 15 字数 382千字

**版 次:** 2018年6月第1版 2018年6月第1次印刷

**印 数:** 3 100册

---

**书 号:** ISBN 978-7-5446-5091-5 / H

**定 价:** 48.00元

本版图书如有印装质量问题,可向本社调换

质量服务热线: 4008-213-263 电子邮箱: [editorial@sflep.com](mailto:editorial@sflep.com)



# 总序

21世纪是一个国际化的高科技时代，也是一个由工业社会进一步向信息社会转化的时代。科学技术的高速发展、新兴交叉学科的涌现、人文文化与科学技术间的相互渗透和融合、社会的信息化以及知识、信息传播技术的日新月异加强了世界各国文化的交流、碰撞与合作。要想在激烈的世界竞争中立于不败之地，就要占领人才培养的制高点，培养出世界一流的高素质、高水平人才。

由于社会对外语人才的需求已呈多元化趋势，以往那种单一外语专业的基础技能型人才受到挑战。今后我们仍然需要培养《源氏物语》的专门研究家，但是高校外语专业的教学必须从过去的“经院式”人才培养模式向宽口径、应用性、复合型人才培养模式转化。社会要的不光是懂外语的毕业生，还需要思维敏捷、心理健康、知识广博、综合能力强的精通外语的专门人才。

我国的外语教学界已充分认识到，对国家建设发展急需的外语专业人才加大培养力度，提高其能力和素质是一项迫在眉睫的任务。随着我国日语专业教学点设置的不断增加和招生规模的逐年扩大，日语专业本科生的教学改革、学科建设及教材出版亦取得很大的成绩，各地先后出版了一批在全国有影响的优秀教材。正因为社会对日语人才的培养提出了更高的标准，同时对日语学科的建设也提出了新的要求，因此，日语本科生教材的编写和出版也应该顺应潮流，开拓创新。

我国外语教材和图书出版的基地、领头羊之一的上海外语教育出版社（外教社）以高度的责任感和高瞻远瞩的视野，在充分调研的基础上，抓住机遇，于2003年8月邀请了全国主要外语院校和教育部重点综合大学日语专业的近20位专家，在上海召开了“全国高等学校日语专业本科生系列教材编写委员会会议”。代表们完全认同编写“新世纪高等学校日语专业本科生系列教材”的必要性、可行性及紧迫性，并对编写立意、教材构建、编写审校程序提出了许多积极、中肯的建议和要求。之后，外教社又多次召开全国及上海地区专家学者会议，分头撰写编写大纲，确定教材类别、项目，讨论审核样稿。经过两年多的努力，终于迎来了第一批书稿的付样。

本套教材共分语言知识、语言技能、语言学与文学、语言学与文化、

语言学与翻译（中日对译）、人文科学、经济贸易、测试与教学法等若干板块，可以说几乎涵盖了当前我国日语专业所开设的全部课程。编写内容根据因材施教的原则，深入浅出，反映各个学科领域的最新研究成果；编写体例采用国家最新有关标准，力求科学、严谨；编写思想贯彻了在帮助学生打下扎实的语言基本功的基础上，培养学生分析和解决问题能力的原则，全面提高学生的人文、科学素养，养成健康向上的人生观，成为合格的外语专门人才。

本套教材编写委员会云集了我国日语界学者专家，其中不少是高等学校外语专业指导委员会的委员。每一种教材均由编写委员会的专家们仔细审阅后确定，有的是从数种候选教材中遴选，总体上代表了中国日语教材学发展的方向和水平。我们相信，外教社这套“新世纪高等学校日语专业本科生系列教材”的编写和出版，一定会促进我国日语专业本科生教学质量的稳步提高，其前瞻性、先进性和创新性也将为日语教材的编写拓展更为广阔的视野。

谭晶华

上海外国语大学常务副校长



# 前言

写作，可以说是一种交流。将自己的想法、经历、研究成果等写成文章时，必须要考虑到不在我们面前的读者，否则难以写出好的作品。无论用哪国语言写作，无论撰写什么文章，这一点都是一样的。但同时，用日语写作有必要学习日语词汇和语法规则、日本人容易理解的表达、各种文体的结构和写作方法等。《日语写作教程》（以下简称“本教程”）的撰写目的就是帮助读者提高日语写作水平，以实现与他人的书面交流。

本教程讲解多种文体写作方法，并附有大量练习。所讲解的文体包括：自我介绍、书信、说明文、记叙文、演讲稿、故事、感想、议论文、专栏、随笔、小论文、调查报告等。

本教程一共包含15课。1-14课每课讲解一种文体的写作方法，第15课主要指出报告中除正文以外的其他注意事项。

1-14课的基本结构如下：

(1) 介绍某一种文体的定义和主要特点。

(2) 提供1~2篇该文体的范文。范文一般为日本学生或中国学生的优秀作文，也收录日本作家的文章。提供范文的同时，指出范文的写作特色，包括语言特点和文章框架等。这些内容丰富的范文以及有针对性的讲解可以说是本教程的一大特色。

(3) 对该文体的写作方法、要点和常用表达等作出具体说明。

(4) 附有形式多样的练习。例如：填空、选择、改错、归纳大意、撰写作文、设计报告框架等。这些练习题都是针对中国大学生用日语写作时常犯的错误而精心设计的。

本教程的适用对象为高等院校日语专业高年级学生，也可以供广大日语学习者自学时使用，或者作为日语教师的教学参考。

本教程在撰写过程中，得到了上海外国语大学日本文化经济学院写作教研组各位老师的大力支持，得到了该学院日语专业的毕业生以及在读高年级学生提供的高质量的作文资料，在此表示由衷的感谢。

同时，感谢上海外语教育出版社曹艺先生为本教程的编辑所做的大量工作。

由于笔者水平有限，疏漏之处在所难免，恳请批评指正。

凌 蓉 山岸爱美

2017年10月于上海外国语大学



# まえがき

文章を書くということは、コミュニケーションの一つであるといえます。自分の考えや体験、研究の成果などを文章で書いていくとき、目の前にはいない読み手のことを考えて書かなければ良い文章にはなりません。これはどの言葉を用いて書く場合にでも、どのような文章を書く場合にでも変わらないことではないでしょうか。

しかしながら、日本語で文章を書く際には文法や言葉の使い方のようなルール、または日本人にとって理解しやすい言葉、文章の構成や、文章のパターンなどを学ぶ必要があります。『日語写作教程』(以下、本書)はこの両面を学習してもらうことを目指して作成したものです。

本書は自己紹介文、手紙文、説明文、体験文、スピーチ原稿、物語文、感想文、意見文、コラム、エッセイ、小論文や調査報告文、レポートなどの様々な種類の文章を扱い、個人的な内容の文章からアカデミックな文章までをカバーしています。また、豊富かつ多様な練習問題を提供しています。

本書は15課から構成されています。第1課から第14課までは各課で扱う文章の書き方を解説し、第15課ではレポートにおける引用方法などの注意すべき事柄について解説しています。第1課から第14課の構成は以下のとおりです。

## (1) 文章の定義と特徴の解説

## (2) 模範となる文章の提示

ここでは日本の学生や中国の学生の書いた優れた作文のほか、日本人作家の文章などを模範文として提供しています。この豊富な文章例は本書の大きな特徴の一つです。その課で扱う文章の特徴や、ポイント、構成などを文章を通して理解し、書く力につなげていくことを目指しています。

## (3) 扱う文章の書き方やポイント、扱う文章内でよく使われる表現などの解説

## (4) 練習問題

穴埋め、選択問題、間違いの修正、文意の読み取りや文章の作成、レポート等のアウトライン作成など、扱う文章にあわせた多様な問題を用意しました。これらの練習問題は日本語を学ぶ中国の大学生が間違えやすいものを集め、作成されて



います。

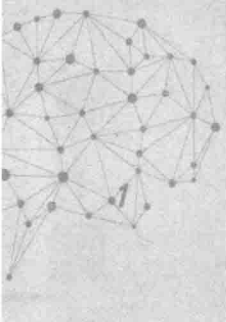
本書は日本語を専攻する大学生を中心対象としていますが、その他の幅広い日本語学習者にも利用できるようになっていました。また、日本語を教える教師の参考書としてもお使いいただけます。

本書作成にあたり、卒業生や在学生の作文資料の提供など、上海外国語大学日本文化経済学院の作文担当の先生方に多大なるご協力をいただきました。ここに感謝の意を表します。また、編集の面でご尽力くださった上海外語教育出版社の曹藝さんにも深く感謝いたします。

最後に、本書をお使いいただき、何かお気づきの点などがございましたら、ご指摘いただけると幸いです。

凌蓉 山岸愛美

2017年10月上海外国語大学にて



# 目次

第1課	自己紹介文と自己PR文	1
第2課	手紙文	12
第3課	説明文	23
第4課	体験文	30
第5課	スピーチ	37
第6課	物語文	48
第7課	感想文	63
第8課	意見文	79
第9課	コラム	92
第10課	エッセイ	102
第11課	小論文	114
第12課	要約と引用	129
第13課	調査と報告	144
第14課	レポート(1)	162
第15課	レポート(2)	175
	練習問題の解答(参考)	186
付録1	原稿用紙の使い方	206
付録2	はがきの書き方	210
付録3	ことわざ	212
	主要参考文献	226
	謝辞	227

## 自己紹介文、自己PR文とは

自己紹介文とは、自分をよく知ってもらうためや自分に興味を持ってもらうために書く文章です。初めて会った人などに自分を知ってもらい、覚えてもらうことを目的とします。そのため、相手の印象に残るような文章にする必要があります。また、第一印象は自己紹介によって決まる場合も多いですから、しっかりと内容を考える必要があります。

自己PR文は、教育機関への入学や就職活動の際に提出が求められる場合が多く、読み手に自分をアピールし、自分の魅力を知ってもらい、採用してもらうことを主な目的とする文章です。読み手が誰なのかによって何を書くべきかを考える必要があります。

以上の二種類の文章は「自分を紹介する」という点では共通点もありますが、書くべき内容は異なります。

## 自己紹介文の例

## 自己紹介

- ① 私の名前は陳墨です。南京の出身です<sup>①</sup>。陳は新陳代謝の陳で、古いという意味ですが、真意は「先祖から伝えられてきたことを忘れない」というものです。墨は字を書くときに使う「すみ」で、たくさんの墨を使って勉強家になってほしいという願いが込められています<sup>②</sup>。が、今の私は1000字くらいの中国語の作文も書けなくなってしまったので、恥ずかしく思っています。
- ② 家で一人、読書をするより、外で仲間と一緒に運動するほうが好きで、特にバレーボールと卓球が大好きです。上手かどうかはともかく、仲間と一緒に勝利を目指して努力するこ

① 最初に名前、出身、仕事などを簡単に肉付けして述べます。

② 名前の由来やあだ名などを説明すると、印象に残りやすいです。

とが一番だと思います。大学一年の時、クラスメートと一緒にバレーボールのチームを組んで学園の大会に参加したことがあります。毎日、烈日の下で汗だくになるまで練習をしました。最後の決勝戦で負けてしまいましたが、その熱く盛り上がる気持ちと友情は今でも忘れられません。そのほかには音楽とアニメにも興味を持っています。

- ③ 私はよく外交的な人だと言われます。そして、自分でもそうだと思います。新しい友人を作るのが得意です。この夏休みに中日交流会に参加したときにも、多くの人に話しかけ、いろいろな話をし、たくさんの友人ができました。その人たちとは今でも連絡を取り合っています。
- ④ 将来は、日本語に関係する仕事がしたいと思っていますが、具体的にはまだ決めていません。小さな夢は、日本のアニメを字幕なしで完全に理解できるようになることです。どちらも日本語を頑張って勉強しなければ叶わないので、名前の通り、たくさんの墨を使って勉強したいと思います。

(655字)

③ 趣味や特技を具体的なエピソードと一緒に書きます。

④ 性格を紹介するときも、その性格を証明するような具体的なエピソードと一緒に書きます。

⑤ 最後はポジティブに締めましょう。

## 自己紹介文の構成

### 自己紹介

第①段落 名前と出身

名前の由来で印象的に

第②段落 趣味

具体的なエピソード

第③段落 性格

第④段落 夢や目標

まとめ

自己紹介文の構成は比較的自由ですが、いろいろなことを話しすぎるとまとまりのないものになってしまいます。自分を知ってもらうにはどの情報が良いか、読む（聞く）人はどの情報に興味がありそうかなど、場合によって構成内容を変える必要があります。

大事なことは自己紹介文の最後をポジティブに終えることです。ネガティブな表現、例えば「自信がない」「できない」などが最後に来ると、全体的に暗い印象になってしまいます。

## 自己紹介文の書き方

自己紹介文では主に、自分の名前や出身、仕事や専攻、趣味、性格などについて書くことが多いです。よく自分を知ってもらうため、興味を持ってもらうためにそれぞれ工夫が必要です。

### (1) 名前の紹介

自己紹介において重要なことの一つは「名前」を覚えてもらうことです。しかし、ただ「私は～です。」と名乗るだけでは覚えてもらえません。印象を強めて名前を覚えてもらうためには、ちょっとした工夫が必要になります。

例えば、名前の由来を紹介するという方法があります。

例:

- 私の名前は太田龍之介です。辰年生まれで、両親が芥川龍之介の愛読者なので龍之介という名をつけたそうです。
- 私の名前は中井桜です。桜が満開の頃に生まれたのでこの名前になりました。
- 私の名前は周全です。周全には「周到」という意味があります。父は私が周到な人になるのを願っていたようです。

また、カジュアルな場ではあだ名（ニックネーム）を紹介するのも良い方法です。

例:

- 私の名前は小松ともえです。友人からは「こまちゃん」と呼ばれています。みなさんもぜひ「こまちゃん」と呼んでください。

名前に関するエピソードなどを付け加えるのも良い方法です。

例:

- 私の名前は木村卓也です。名前を呼ばれるたびに皆が私を見るのでちょっと困っています。
- 私は高橋聖です。「聖なる」の「聖」であきらと読みます。ちょっと変わった読み方で、いつも間違われます。
- 私の名前は王逸蔚です。王は中国でとても多い苗字で、高校時代にはクラスに

六人の王さんがいました。

- 私は董です。女性なのに、みんなから「とうさん」と呼ばれています。

## (2) 出身地の紹介

出身地は会話のきっかけとなる場合が多く、出身地が同じ、または近い人がいた場合に親近感を与えることもできます。ここでも出身地を言うだけでなく、そこがどんなところなのか、簡単に紹介すると効果的です。

例えば、地元の名物などを紹介する方法があります。

例:

- 牛タンとずんだで有名な仙台の出身です。
- 山東省の出身です。山東省は孔子の故郷として有名で、古くから日本との交流があったところです。

また、出身地に名所があれば、それを紹介するのも良い方法です。

例:

- 出身は奈良県です。最古の古墳の一つである箸墓古墳の近くに住んでいました。
- 四川省の出身です。四川省は辛い料理のほかに、パンダの保護区があることで有名です。

## (3) 仕事や専攻

社会人なら仕事、学生なら専攻は自己紹介の際に重要な要素の一つになります。しかし、ただ単に「～をしています」「～を専攻しています」と言うだけでは不十分です。仕事や専攻がどんなものか、どんなところがおもしろいのかなども話しましょう。

例:

- 私は接客の仕事をしています。お客様に合わせて一番良い対応ができるように頑張っています。接客には絶対的な正解がなく、大変ですが、そこがおもしろいところだと思っています。

- 私の専攻は英文学です。最近は英語の詩に興味を持ち、勉強し始めました。
- 私の専攻は経済学です。将来、会社の経営者になりたいと思って、この専攻を選びました。

#### (4) 趣味

趣味を話すときには、「いつから始めたのか」、必要があれば「どのようなものか」「何がおもしろいのか」について話すと効果的です。

例:

- 私の趣味はピアノを弾くことです。小学校一年生から始めて、今年でもう二十年目です。クラシックを弾くことが多いですが、ジャズにも興味を持っています。
- 私の趣味はヨガです。健康のために去年から始めました。たくさん汗をかいて、体に良いことをしているんだと実感できるのでお勧めです。

#### (5) 性格

性格を紹介する際には「～と言われている」というように、人からはそのように言われているのだという言い方をすることが多いです。なぜなら「私は優しい人です」などと自分で言うのは、少々傲慢な印象になってしまうからです。また、良くない印象を与える性格をわざわざ書く必要はありません。そのほか、出身地で性格を説明する人がいますが、これも避けたほうが良いでしょう。そして、性格を紹介するときにはその性格を裏付ける具体的な経験やエピソードを簡単に書く必要があります。

例:

- 私は積極的な人だと言われます。自分ではあまりそう思わないのですが、確かに今まで自分で立候補してクラスのリーダーをやったり、スポーツ大会に出たりしました。その結果、良い経験ができていると思います。
- 私は友人には、みんなの調整役と言われています。ちょっと褒めすぎだと思うのですが、みんなの意見を聞いて、それらをまとめるのが得意だと思います。

## 自己PR

- ① 私の強みはどんなことがあっても最後まで頑張りぬく力があることです<sup>①</sup>。この強みのおかげで、私は様々な困難を乗り越え、自分を成長させることができたと感じています。
- ② 例えば、大学二年生の時に学校を代表して日本語のスピーチコンテストに出場しました。私は文章を書くことは得意でしたが、人前で話すことには自信がありませんでした。何度も自分のスピーチを録音し、聞き返し、先生の指導を基に自分の発音や聞こえ方をチェックし、練習を続けました。また、友人に協力をしてもらい、人前で話す練習もしました。しかし、第一回の練習の後、友人にスピーチに向いていないというコメントをもらいました。それを聞いて私は非常にショックを受けました。そこで、私は一冊のノートに自分の問題点を書き出すことにしました。その結果、自分の発音に自信がないあまりに声が小さく、うつむき加減になっていることや、スピーチに抑揚がなく、単調になっていることなどに気づくことができ、よりよい練習ができるようになりました。<sup>②</sup>
- ③ 本番では自分の納得できるスピーチができ、入賞することもできました。これはあきらめずに最後まで頑張りぬいたからこそその結果だと思えます。<sup>③</sup>
- ④ 私は大学入学時から日本語を勉強し始め、日々の授業のほか、自主的な学習を続けてきました。現在、最も興味を持っているのは日本語の擬音語、擬態語です。貴学に留学することができましたら、日本語能力の向上はもちろんのこと、擬音語、擬態語についての研究をしたいと考えています。擬音語、擬態語の専門家である斎藤教授の下で学びたいと考えております。<sup>④</sup>
- ⑤ 擬音語、擬態語は外国人にとって難しいという意見もありますが、貴学に留学してからも、私の最後まであきらめずに努力し続けるという長所を生かし勉学に励みたいと思っております。<sup>⑤</sup>

① 最初にPRする事柄を提示します。

② 長所の証明として、具体的な経験を書きます。読み手を納得させられることが大事です。より具体的に書くことを心がけましょう。

③ 留学先に行く必要があること、どんなことがやりたいかを、長所と結びつけて書きます。

④ 最後にもう一度PRポイントを繰り返します。

(750字)



### 自己PR

- ① 私の長所は、分析する力があることです。問題の原因を分析し、事態を改善する解決策を考える力に自信があります。① その力を最も発揮したのは、クラブ活動で新入生勧誘の仕事だった時です。
- ② 私の所属したボランティアクラブは大学内でも長い歴史を持ち、多くの功績があるクラブにもかかわらず、毎年、新入生の獲得に苦勞をしていました。新入生が入らなければ当然、クラブの活動も困難になってしまいます。そこで、私はなぜ新入生がほかのクラブよりも入ってこないのかという問題の原因を特定し、改善するために調査を行いました。②
- ③ まず、大学一年生がボランティアに興味を持っているのかについて調査をしました。インターネット上に簡単なアンケートを作成し、友人に協力してもらい東京の大学一年生50名へのアンケートを行いました。すると約60%の学生がボランティアに興味を持っていることが分かりました。③
- ④ そこで、私は宣伝の方法を見直すことにしました。今までのチラシを確認すると、そこには活動時間、場所、メンバー数などの基本的な情報と集合写真、「有意義な学生生活」といった宣伝文句しか書かれておらず、どんな活動をしているのかが分からないという問題点に気づきました。また、去年加入したメンバーに聞き取り調査を行い、具体的な活動が分かりにくかったことやかかる費用などの説明が足りないことに気づきました。そこで、昨年度の活動を新聞形式でまとめ、メンバーのインタビューも掲載しました。それを校門前で配布し、後日、説明会を開催し、新入生の不安や疑問を解決する場を設けることにしました。結果として12名の新メンバーを迎えることができ、有意義なクラブ活動を継続することができました。④
- ⑤ 御社に入社してからもこの長所を生かし、自らの問題点や仕事上の問題点を冷静に分析し、仕事をしていきたいと考えております。⑤

(764字)

① 最初にPRする事柄を提示します。

② 長所の証明として、具体的な経験を書きます。

③ 自分が実施した調査及びその結果を書きます。

④ 今までのやり方の足りないところ、改善策及び改善の効果について具体的に述べます。

⑤ 最後にPRポイントと入社後の行動に触れ、文章を縮めます。